



大いなる自己の知識を追求する

スワミ・イーシュワラーナンダ

「テンプルの中にいなさい」のサツツァング

シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールでのライブ動画配信

2020 年5月 16 日 土曜日

ナマステー。

私の名前はスワミ・イーシュワラーナンダです。シッダ・ヨーガの僧侶であり瞑想ティーチャーです。私はバーバ・ムクターナンダの祝福を受けて、1980 年にシッダ・ヨーガの僧侶になりました。その時にバーバからスワミ・イーシュワラーナンダという名前を授かりました。「スワミ」はサンニャーサを受け入れる僧侶の称号です。従って、お気づきのように、シッダ・ヨーガの僧侶の名前は、すべてスワミで始まります。アーナンダは「至福」が文字通りの意味です。イーシュワルは神を表します。ですから、イーシュワラーナンダは「神の至福」という意味です。

ある時、グルマリーが私に、「バーバはどのようにしてその名前をあなたに選んだのでしょうか？」と尋ねました。私はグルマリーの質問に対する答えが分からなかったので、ただ首を横に振りました。グルマリーは、「バーバはあなたがいつも笑顔でいることに気づいていたからでしょう、スワミ・ジ」と言いました。グルマリーからそれを聞いたことは、私にとってとても意義深いことでした。また、グルマリー自身がどれほど私の笑顔が好きか言及してきたことを思い出しました。

このことは私をととても幸せにしています。というのも、私は内側の喜びをいい笑顔を通して分かち合うことが大好きだからです。

今日、このシッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールでのライブ動画配信による「テンプルの中にいなさい」のサツァングで、私たちはバーバ・ムクターナンダの生誕 112 年の太陽暦の記念日を祝います。

グルマリーは何年も前のサツァングで、5月はバーバの月だと言いました。もちろん、そのサツァングに参加し、グルマリーが「バーバの月」と言ったのを聞いた私たち全員が、すぐさまそれを気に入って、5月をバーバの月と呼ぶのを慣習にすることを決めました。

グルマリーはまた、もし私たちが注意を払うなら、いかにバーバの印に気づくかを私たちに話しました。私たちはグルマリーがそのことを話した時、素晴らしいと思いました。そして、本当に多くのシッダ・ヨーギたちが、いかにバーバの印に気づいていたかに思い当たりました。しかしその時までは、結び付いていなかったのです。グルマリーの教えを通して、自分たちが見ていた共時性の数々は、実際にバーバの印だったのだと知って、誰もが喜びました。

さらに、グルマリーはここ何年も、バーバの誕生月の5月と、バーバがマハーサマーディに入ったことから同様にバーバの月である 10 月には、特に、青い空に白い雲で描かれた「M」の文字を見ると話していました。

この吉兆な朝、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムの日の出直前に、バーバの衣の色である美しいオレンジ色の光が、東の空に広がりました。そのオレンジ色に輝く光線は、澄んだ青い空を背景にしていました。そして、太陽は昇ると、地平線全体にわたって金白色の光を発しました。それはこの上なく見事でした。その後、ユニバーサルホールで「テンプルの中にいなさ

い」のサツァングが始まる直前に、ジェット気流が空の太陽を横切って弧を描き——それは1本の矢が放たれて空を横切り、太陽を突き抜けて行ったかのように見えました。

バーバの印でしょうか？——間違いなくそうです！



あなたは、どのようにバーバ・ムクターナンドが彼の敬愛するグル、バガヴァーン・ニッテャーナンドによってグルとしての伝授を受けたかを、聞いたり読んだりしてきました。バーバがバデ・バーバの教えとバーバ自身の教えを伝え始めたのは、彼のシュリー・グルの命令によってです。バーバは、真理を探し求めている間、さらに彼がグルになった後にも、インドを広範囲にわたって旅しました。そして、シュリー・グルの内なる命令によって、バーバは、何千もの探究者たちにシッダ・ヨーガの教えを伝え、シャクティパート・ディークシャーを授けるために、3度の世界ツアーに乗り出しました。

バーバは、確固として彼のグルの命令を実行しました。1970年から1982年にかけて、彼は探究者たちの中に、精神的エネルギーであるクンドリニー・シャクティを覚醒させるために世界中を旅しました。バーバはまさにこの目的のために、数多くのシャクティパート・インテンシヴを行いました。そして、私が知る限り、バーバ・ムクターナンドは「インテンシヴ」という言葉をインドと世界中で紹介した最初のグルでした。バーバはシッダ・ヨーガの修行を毎日のサツァングで教えました。また、30冊以上の本を書き、シッダ・ヨーガのサーダナーのあらゆる要素を明確化し定義付けました。

バーバの活動がどんどん大きくなるにつれて、バーバは、彼のすべての仕事を支え、この仕事を将来にも引き続いて進めるために、何らかの組織が必要になると予見しました。ですから1974年に、バーバの要請に従って、SYDA ファウンデーションが設立されました。私はバーバ

の教えのすべてを学ぶことを愛してきました。そしてその学びを通して、個人的に飛躍的な成長を体験してきました。そして私は、バーバの教えを伝えることもしました。バーバ・ムクターナンドとグルマーイ・チッドヴィラーサーナンドの祝福により、私は世界中を旅し、シッダ・ヨーギたちとサツァングをする機会を持ちました。今日、シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールでの「テンプルの中にいなさい」のサツァングで、私は次のバーバの象徴的な教えの中から、際立った1行について話したいと思います。

あなたの大いなる自己をたたえなさい、
あなたの大いなる自己を崇拝しなさい、
あなたの大いなる自己に瞑想しなさい、
神は、あなたの中にあなたとして住んでいる。

私が焦点を当てたい行は、「神は、あなたの中にあなたとして住んでいる」で、それはバーバが現代の世界に明らかにしたシッダ・ヨーガの英知の本質を明言しているからです。

「神は、あなたの中にあなたとして住んでいる」。この2語、「as you (あなたとして)」は、バーバの生徒たちにとって中心軸となるものです。バーバの元にやって来た探究者たちは、すでに非常に似たように思われる教えを聞き、学び、あるいはそれらの教えと共に成長してきました。例えば、聖書の言葉には、「神の王国はあなたの内側にある」。あるいは、禅宗の教えには、「ブッダを探すために、あなたがしなければならないすべては、あなた自身の本質を見ることである」。多くの人々がそれらの教えを大切にしてきたのです。

しかしながら、私が何年にもわたってそれらの人々と話す中で分かったことは、彼らもまた、最初はそれらの教えが実際にどういう意味なのかを正確に理解するのは難しかったということでした。あなたが、「神の王国はあなたの内側にある」という言葉を目にした時、一目見て、確かに何か本当に偉大なものが自分の内側にあるけれども、それは自分とは別の、自分から離れ

ているもの、と考えるかもしれません。「神は、あなたの中にあなたとして住んでいる」というバーバの教えで私が好きなことは、たとえそれをちらりと見るだけでも、その核心をつかみ得る素晴らしい機会となることです。つまり、神と個人の魂の間には一体性があると知ることです。

バーバはその疑う余地のないやり方で、そう、あなたの内側には真に偉大な何かがある、そしてその偉大な何かとは、あなたである、と教えました。彼の教えは、どうしてこれがそうなり得るのかを、より深く探究していくことにあなたを駆り立てます。偉大なる神が私自身の大いなる自己の形を取っているとは、どういうことなのだろうか？

バーバがこの教えを与えているのを聞き、そしてその深遠な意味を熟考し体験し続ける中で、私は、それはバーバ自身の神の実現の体験が抽出されたものだとして理解するに至りました。バーバは、彼のグル、バガヴァーン・ニッテヤーナンダの導きの下、何年もの厳しい困難なサーダナーを通して——同時にインドの神聖な教典の規律ある集中的な学びを通して——神の実現に到達しました。

それらの教典の一つに、紀元前 6 世紀から 7 世紀の間に書かれた、歴史上最も初期に記録された文献の一つとされる、『チャンドーギヤ・ウパニシャッド』があります。この『チャンドーギヤ・ウパニシャッド』は宣言しています。「この全世界はブラフマンである」(絶対なる者である)。¹

サンスクリット語のブラフマンという言葉は、「広がること」「育つこと」を意味する語源 brh(ブリフ)から派生しています。音節 man(マン)は、行動をする「者」または「それ」を示しています。従って、ブラフマンという言葉の文字通りの意味は、「拡大するもの」です。ブラフマンは、広がって全宇宙とそこにある物すべてを顕現する、至高の絶対なる者——すべての根源——です。

すべての本質はブラフマンまたは神であると伝えた後、『チャンドーギヤ・ウパニシャッド』は次のように宣言します。「汝(なんじ)はそれである」または「汝はブラフマンである」。²この真理を直接体験したそれらの偉大な存在は、美しく、驚くべき、詳細な作品の中で、彼らが会得したものを表現してきました。西暦 8 世紀には、不二一元論のヴェーダーンタの偉大な教師である、悟りを得た賢人シュリー・シャンカラチャーリヤは、意識と一体になったと気づいた瞬間を描写しています。

彼は書いています。「ブラフマンの大海はネクター——アートマーの喜び——で満ちている。そこで見つけた宝物は、言葉で言い表すことができない。マインドはそれを理解することができない。私のマインドは、ブラフマンの大海の膨大な広がり一粒のひょうのように落ちた。その大海の水の一滴に触れると、私は溶け去り、ブラフマンと一つになった。そして今、私は人間の意識に戻るが、アートマー、偉大な大いなる自己の喜びの中にあり続ける」

先週の月曜日、私がこの話の準備を終え、アーディ・シャンカラチャーリヤによるこの教えを振り返った後、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムの上に広がっていた青空が、突然、暗い嵐の雲に覆われました。木の枝に強い風が吹き始めました。屋根を打つ音が聞こえ始めました。窓の外を見ると、直径半インチ(1 センチメートル)の純白の氷の球がいくつも見え、アーシュラムの敷地全体に散らばっていました。ひょうでした。私たちは共時性を祝うと、シッダ・ヨーガの道で聞いたことがあるかもしれません。さっき私が、今はバーバの月で、バーバの印があると言ったことを覚えていますか。

8 世紀に戻りましょう。瞑想と精神修行の時代を超えた技術を通して、シュリー・シャンカラチャーリヤは形あるものという幻想を貫き、現実の根底にある、あらゆるものの永遠の本質として、神、ブラフマンの至福の光を認識しました。シュリー・シャンカラチャーリヤは多くの弟子にサンニャーサの伝授を与え、またその際にはマントラ、「私はブラフマンである」を与えました。

今日、2020 年 5 月 16 日、私たちはバーバの 112 回目の太陽暦の誕生日を祝っています。バーバが真理を探究するために 16 歳で家を出た時、シッダールダ・スワミのアーシュラムへ行きました。そこで彼はヴェーダーンタの哲学を学びました。バーバがサンニャーサを受け取ったのはこのアーシュラムにおいてでした。バーバは 1920 年代の中ごろ、サラスワティー僧団へ入る伝授を受けました。バーバが受け取った名前——ムクターナンダ——は、「精神的な解放の至福」を意味します。

バーバは、南から北へそしてインド中を徒歩で、およそ 3 回旅をしたことや、あらゆる伝統に属する何百人ものシッダと聖人に会ったことについて、講話をし、著書に記しました。彼はあらゆる異なる道のアーチャーリヤやグルに会い、インドの教典と哲学を学び、学び、そしてさらに学びました。

バーバがとても愛したシッダの一人は、ジプルアンナでした。事実、バーバをバガヴァーン・ニッテャーナンダの元へ送ったのはジプルアンナだったのです。そして今日は、ジプルアンナの太陰暦のプンニャティティです。彼が肉体を離れ、絶対なる者と融合してから 71 年になります。バーバはジプルアンナの指示を通して自分のグルを見つけたので、いつも敬意と感謝を込めてジプルアンナのことを話していました。バーバは、自らのグルとして受け入れたバガヴァーン・ニッテャーナンダのダルシャンを受けて初めて、シャクティパートを受け取ったのでした。何年もの間バーバはサーダナーを行い、自己実現に到達しました。

バーバが13世紀の詩聖ニャーネーシュワル・マハーラージの教えを学んでいた時、カシミール・シャイヴィズムと呼ばれるもう一つの偉大な哲学の存在を見つけました。グルになると、バーバはヴェーダーンタのような哲学に加えてカシミール・シャイヴィズムを教えるようになりました。バーバは、カシミール・シャイヴィズムは、彼のサーダナーと彼のクンダリーニー・シャクティが展開する体験の全容を、詳しく述べていると言いました。9世紀から11世紀の間にカシミール地方で書き留められたカシミール・シャイヴィズムの教典は、神あるいは至高なる意識が、ど

のようにしてそれ自身の存在から世界を創るかを明らかにしています。そして、形ある世界を取る時でさえ、大いなる意識はその内在する自由と至福の性質を、決して失うことはありません。

カシミール・シャイヴィズムの多大な影響力を持つ教典である『シヴァ・スートラ』の最初のスートラは、自分自身の大いなる自己について言います。「チャイタンニヤム・アートマー、つまり大いなる自己は大いなる意識である」。³このスートラを引用する時、バーバはしばしばそこにいる人々に、「たった今、私の言葉に耳を傾けているのは誰なのか？ 耳を通して聞いているのは、目を通して見ているのは誰なのか？」と尋ねたものです。それからバーバは、それは、大いなる意識である、すべての中にある同じ大いなる意識である、そして「あなたはそれである。神は、あなたの中にあなたとして住んでいる。瞑想しなさい」と言って、答えました。

このようにして、バーバは内側にある何か偉大な存在——大いなる自己、至高なる自己——に探究者たちを導きました。バーバは、大いなる意識は内側にある、と教えました。彼の著書『プレイ・オブ・コンシャスネス』の中で、バーバは彼の最終的な悟りの時に、瞑想の中で、個々の人間の光であるブルーパールが爆発し、すべての境界を超えて拡大し、それからあらゆる物に広がる大いなる意識の青い光、神の光に融合したと書きました。滴は海になったのです。

バーバは書いています。「まばゆいばかりに美しい、大いなる意識の輝きが、至高なる恍惚(こうこつ)感として、私の内外上下で静かに脈動するのが見て取れた」。⁴この機会に、私はバーバの『プレイ・オブ・コンシャスネス』は画期的な本だと述べたいと思います。『プレイ・オブ・コンシャスネス』はバーバの精神的旅路の自叙伝です。51年前のこの5月に、バーバは、初めから終わりまでを3週間という期間で書きました。

バーバは、何千もの教典や古代の賢者たちの認識と偉大な英知を、「God dwells within you as you. (神は、あなたの中にあなたとして住んでいる)」という、たった六つの単語で構成された力強いスートラのような教えにまとめました。このように、バーバは偉大な神秘家たちの太古の知

識を——彼が多大な努力を払って理解し達成した知識を——世界中の人々がすぐに触れられるようにしました。大いなる自己の知識の探求に興味がある誰もが、このバーバの教え「神は、あなたの中にあなたとして住んでいる」を研究することによって大いに利益を得るでしょう。

私が真っ暗闇の中で偉大な何かを探していた時に光を照らしてくれたバーバに対し、私の心は感謝の気持ちでいっぱいです。バーバは当時絶望を感じていた私の世界を明るく照らし、意味をもたらしてくれました。私がバーバのこの教え——「神は、あなたの中にあなたとして住んでいる」——を学んだ時、私には本当の意味で明かりが灯りました。ありがとうございます、バーバ。私の残りの人生ですっと「ありがとうございます、バーバ」と歌い続けても、まだ感謝を言い尽くせないと分かっています。お誕生日おめでとうございます、バーバ。



© 2020 SYDA Foundation®. 著作権所有。

¹ *Chandogya Upanishad*, 3:14.1; S. Radhakrishnan, trans., *The Principal Upanishads*, fourth edition (George Allen and Unwin LTD, 1974), p. 391.

² *Chandogya Upanishad*, 6:8.7; S. Radhakrishnan, trans., *The Principal Upanishads*, fourth edition (George Allen and Unwin LTD, 1974), p. 458.

³ Swami Muktananda, *Nothing Exists That Is Not Shiva* (S. Fallsburg, NY: SYDA Foundation, 1997), p. 5.

⁴ Swami Muktananda, *Play of Consciousness*, 3rd ed. (S. Fallsburg, NY: SYDA Foundation, 2000), p. 207.